

三つの花（西部小学校だより） 滑川市立西部小学校 R6.11.18

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

にこにこ花
ほかほか花
きらりん花

楽しく学ぶ
相手の心を思いやる
きらきらと自分らしく輝く

子供たちの姿・様子から感じたこと

子供の何気ない一言がとても素敵だなあとすることがあります。「今日、私の誕生日。大好きなケーキを食べるんだよ。」「寒いですね。今日は手袋をしてきました。」「私のお父さんは、仕事が好きだけれど、校長先生も仕事が好きなんだ。私も工作が大好き。」「〇〇さんは、△△がとても上手で、いつもかわいい絵を描くんだよ。」「先生、昨日は〇〇してくださってありがとうございました。」何気ない言葉の中に、子供たちの家族や友達、先生方に対する気持ちや思いが詰まっているように感じるのです。

逆に、学校では、友達を呼び捨てにしたりあだ名で呼んだりすることで、本当はやわらかで何気ない言葉が、相手に突き刺さるような言葉に変化して伝わってしまうことが増えています。子供一人一人は、たくさんのあたたかさややさしさをもっています。このあたたかさややさしさが変化して伝わってしまうのはもったいないです。このことは、今後成長していく中、社会に出てからも同じことが言えます。

学校では、まず、授業中に～さんと呼ぶように指導し、休み時間等でも呼び捨てやあだ名（相手はもしかするとそう呼ばれることが嬉しくないかもしれません）で呼ばないように指導していきます。名前のことだけでなく、相手が嬉しくなる言葉と傷つく言葉について、ご家庭でも話題にしていいただければと思います。

次に、朝と下校時の子供の様子です。「おはようございます」より「さようなら」は3倍ほどの元気があります。下校時の玄関の子供の気持ちを考えると、学校でエンジンが始動し、一生懸命活動し、疲れ、やっと大好きな家へ帰ることができるのです。夕方、お子さんと会う時に、笑顔や声かけで子供たちにパワーをあげてください。ぎゅっと抱きしめていただくのもよいかと思います。（高学年でも効果がありますよ。）

11月2日の学習発表会には、たくさんのご家族の皆様、子供たちの日頃の学習の一部をご覧いただきました。学年毎に発表の内容や表現の仕方を工夫しており、皆様には子供たちの成長を感じていただけたのではないかと思います。ご家族の力は大きいです。子供たちは精一杯の発表をしようと頑張っていました。

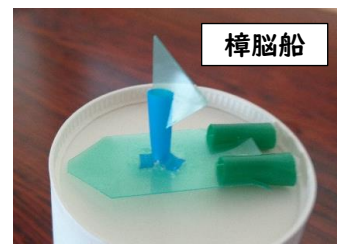
昔懐かしい樟脳（しょうのう）船とポニョに出てくるポンポン船コーナーをつくりました。

児童玄関前の科学遊びコーナーに2つの新しいコーナーを追加しました。一つは、昔（昭和）なつかしい、樟脳船です。エンジンはありませんが、後ろのストローの中に入れた樟脳が水に溶け出し、水の表面張力に差がでることにより前へ進む船です。水を張った洗面器にそっと浮かべると動き始めます。とても簡単に作ることができ、水面をよく動くので子供たちがとても興味をもって遊んでいます。（樟脳の代わりに歯磨き粉でも動きます。）

もう一つは、ジブリアニメ「崖の上のポニョ」の中で宗介のポンポン船として登場する水蒸気の力で動く船です。ろうそくを燃やすため、教員が一緒にいるときに子供たちに見せています。アルミ管の中の水が熱せられ水蒸気となり噴き出して動く船です。

一緒に見ていると、1年生の子供がコーナーの説明書を読みながら、「校長先生、この船ね、水のひょうめんちょうりよくの差のため、エンジンなしでうごくふねだよ。」と教えてくれました。この後、質問されることを想定して、表面張力のことや水が水蒸気になった時の様子の違い等を分かりやすく説明できるように勉強したいと思います。

いろいろなことに興味・関心をもってくれることを期待して、たくさんの科学の種をまいていきます。



創校150周年記念行事について

10月20日には、本校の卒業生でテレビ「東大王」に出演された林輝幸さんをお招きし、「明るい未来へ ～紡ぐ想い～」と題してお話いただき、また、子供たちからの質問や問題にもお答えいただきました。子供たちにとって、夢をもつことや今どんなことを考えて学校生活を送ったらいいのか、後輩へのあたたかいメッセージをいただきました。

11月2日には、たくさんのご来賓の方々にご臨席いただき、歴史と伝統を受け継ぐ西部小学校の創校150周年記念式典を開催しました。いつも学校に大きな愛を注いでくださっている地域の皆様とともにお祝いし、学校と地域が今後益々発展することを祈願しました。

始まりと終わりに、児童代表が「廉平校」創校時の鐘を鳴らし、その鐘の音が心に伝わってくる素敵な式典となりました。式典の式辞を掲載いたします。

本日は、滑川市長 水野達夫様をはじめ、多数のご来賓の皆様、地域の皆様、歴代の校長先生方、そして、福田富昭先生のご臨席を賜り、滑川市立西部小学校 創校150周年記念式典を開催できますことに、心より感謝申し上げます。

また、本式典の開催まで様々なご尽力をいただきました開田実行委員長様をはじめ教育振興会、PTA、児童クラブを代表されます実行委員会の皆様に重ねて感謝申し上げます。

さて、先ほど素敵な鐘の音で式典が始まりました。この鐘は、明治7年、今から150年前、廉平小学校が開校した当時、今のチャイムのように様々な合図として使われていた鐘です。

150年前の「廉平校」の「廉平」という言葉には、決まり正しく、かたよらないという意味が込められています。

本校では、チャレンジを楽しむ心、自らを律しつつ協調し仲間を思いやる心、勇気をもって正しく行動し自分らしく輝く心、そして、全ての基盤となる健康な体等を育むため、仲間と関わり合いながらの体験や探究を大切にされた教育活動を進めております。まさに、「廉平」に込められた、知・徳・体のバランスのとれた清く正しく強い心を育むという思いを受け継いでおります。

小学校の真価は、そこから巣立つ子供たちに、将来、社会に貢献できるための基礎を育むことであると考えます。そして、学校が地域に誇れる学校として存在することが、地域の発展にもつながると考えます。

150周年の節目にあたり、先人の思いが込められたよき伝統を踏襲しつつ、これからの新しい時代にあった学校づくりに邁進し、子供たちが歴史と伝統ある西部小学校で学ぶことを誇りに思うことができるよう教職員が一丸となり努力してまいります。今後とも皆様の一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

在校生の皆さん、創校 150周年という記念すべき時に立ち会えたことをともに喜び、本校の充実と発展に力を尽くしてこられた多くの方々への感謝の気持ちを忘れてはなりません。

本日は、歴代の校長先生方にもおいでいただいておりますが、皆さんがいつも大切にしている「ほかほか花」「にこにこ花」「きらりん花」の三つの花を咲かせるということは、これまでも皆さんの先輩方と先生方の先輩方が大切にしてきた西部小学校の心です。

先日の運動会や縦割班活動等、皆さんの「にこにこ花」「ほかほか花」「きらりん花」が咲き誇っていました。皆さんは学校の自慢の子供たちです。

その皆さんを愛するたくさんの方々がいっぱい応援してくださっていますので、これからも学習や運動に一生懸命取り組んでほしいと思います。そして、今日からまた、西部小学校が「三つの花が咲き誇る学校になるよう」新たな伝統をつくり上げていきましょう。

結びに、本校の発展にお力添えいただきました、滑川市、並びに滑川市教育委員会、滑川市議会、歴代の校長先生方、教職員・卒業生・保護者の皆様、そして多くのご支援、ご協力を賜りました地域の皆様に、改めて衷心よりお礼申し上げます。

教職員、児童一同、決意を新たに、更に大きく飛躍すべく、西部小学校発展に邁進することをここにお誓いし、式辞といたします。

11月23日には、30年前に当時の在校生が設置したタイムカプセルを開けることとなっています。保護者の皆様の中にも、当時1～6年生だった方もいらっしゃると思います。子供のころ、何を考えていたのか、どんな字を書いていたのか等が30年後に届く、楽しみであり、ちょっと恥ずかしい、まさにタイムカプセルなのですね。